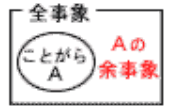


☐ 余事象とは






全事象=ことがら A + Aでないことがら
(Aの余事象)

☐ 「少なくとも」→余事象の確率で考える

Aの確率=1-(Aでない確率)



印刷して、紙の上でやってネ!

1	1個のさいころを振るとき,次の確率をそれぞれ求めなさい。 		2個のさいころを振るとき,次の確率を,余事象の考え方を使って求めなさい。 	
	(1)	1が出ない確率	(1)	2つの目の和が2以上となる確率
	(2)	3の倍数が出ない確率	(2)	2つの目の積が偶数となる確率
	次のことがらの確率を,余事象の考え方を使って,それぞれ求めなさい。			
3	(1)	2個のさいころを同時に投げるとき,少なくとも1個は3の目が出る確率 		
	(2)	4枚のコインを投げるとき,少なくとも1枚は表である確率 		
	(3)	10個の部品に対して2個の不良品が含まれています。この10個の中から同時に2個取り出すとき,少なくとも1個の不良品が含まれる確率 		
	(4)	赤玉4個と白玉4個が入っている袋から,同時に2個の玉を取り出すとき,少なくとも1個の赤玉である確率 